



冷たい雪の降るなか決行されたストライキ。河川敷で集会を行い病院前を行進した(矢巾町、2023年11月29日)



内丸キャンパスでは70人がストライキ集会に参加。デモ行進を行った

23秋季年末闘争では、ストライキなどで賃上げ、労働条件引き上げの必要性を社会に示すたがいが展開された。労働組合主導の賃上げは、24国民春闘へも着実に広がりを見せている。岩手医科大学教職員組合(組合員約1800人)は、12年ぶりのストライキに立ち上がった。新キャンパスへの移転、執行部の世代交代などいくつもの困難を乗り越えて、団結をつくりだした。

## いわて労連 岩手医科大学教職員組合

# 12年ぶりのストに470人が決起

# 賃上げは労働組合主導で

「今やらなかったらいつやるんだ」ベテランが鼓舞

「今やらなかったらいつやるんだ」とベテランが鼓舞

「今やらなかったらいつやるんだ」とベテランが鼓舞

ストライキは「黙っていない」という意思表示

ストライキは「黙っていない」という意思表示

ストライキは「黙っていない」という意思表示

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

組合員の力を高めるには 学習と当事者意識

120年以上の歴史を持つ岩手医科大学は、県内唯一の特定機能病院として高度医療を提供する、地域の基幹病院だ。

2007年に新設移転された矢巾キャンパスと、一部の機能を残した盛岡市内の内丸キャンパスの2拠点で医療活動を行っている。23秋闘で大学側は経営難を理由に一時金削減、給与改定にもなう4月期及もはつきりしない態度に終始していた。

「苦労の連続でした」柴田勇樹委員長は新キャンパスでの初めてのストライキを振り返る。

まず集会の会場確保。前の例をつくらせなかった大学側は、施設管理権を理由に施設内の利用禁止を直前に通達。11月9日に指名スト決行を通告したものの、集会の場所が決まっていなかった。

内丸キャンパス時代のストライキは、盛岡市内中心部の中央通りを白衣姿で歩き、抜群のアピール力だった。一方の矢巾町は盛岡市の新興のベッドタウンで、人通りが少なく、集まれる場所も少ない。やっと見つけた貸会議室で20分の指名ストに90人が参加。「外へのアピールが全然できなかった」と反省が残った。



「自分事としてストライキを組織した執行委員、職場委員、すべての組合員には感動と感謝しかない」と振り返る柴田さん(右)と早川さん

オリジナルのストライキマニュアルには誘導係の配置、緊急車両対策などが事細かに記されている

23春闘のストライキに密着取材した動画「#ストライキやってみた」が全労連YouTubeチャンネルで公開されています。JMITU小坂研究所支部、北海道勤医労事業協給食支部におけるストライキに密着。24国民春闘に向けてぜひ一度ご視聴ください。

全労連 YouTube チャンネル

岩手医大・矢巾附属病院・内丸メディカルセンター 地域、患者、利用者のみならず 11月29日 ストライキへのご理解のお願い

みなさん 岩手医大の一般職員1,800名で会える労働組合、岩手医科大学教職員組合です。日頃よりお世話になっており感謝いたします。

みなさん 岩手医大は「大学および附属病院の経営は、光熱水費や材料費の高騰により赤字と化している」としています。しかし、医療収入をはじめとする大学収入は着実に増加しており、人員費も増えているわけではございません。

大学は、経営困難を理由に「今年度の昇給は実施しない、ボーナスの一時金カットする」と回答してきました。附属病院移転や労働組合を理由とする赤字対策のために職員の賃金を削減するのは、全く納得できません。

また、突然の賃上げの提示であり、十分な説明や具体的な経営改善策が示されないことにより多くの職員は不満の声をあげています。加えて、コロナ対策も一方的に行き届かず、大学の対応には不信感を抱かざるを得ません。

みなさん 大学職員は少ない人員の中、長時間過密労働で心身をすり減らしながら働いています。その結果が収入の増加に繋がっています。それへの対応が給与削減では、職員は何のためにがんばっているのかわかりません。

私たちは岩手医科大学教職員組合は「約束通りの給付の支払い、ボーナスの現金カット」と「新給の大幅削減、経営改善の提示」を求めて、11月29日始業前夜19時頃から、矢巾町附属病院と内丸メディカルセンター周辺を行進するストライキをおこないます。組合として適切な要員を配置し、診療体制は維持されます。

みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

岩手医科大学教職員組合

近隣住民に配布したピラ